

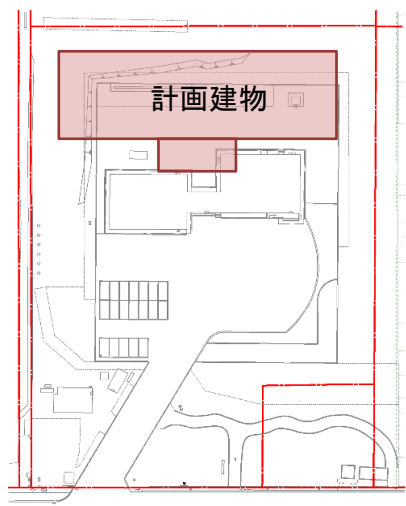
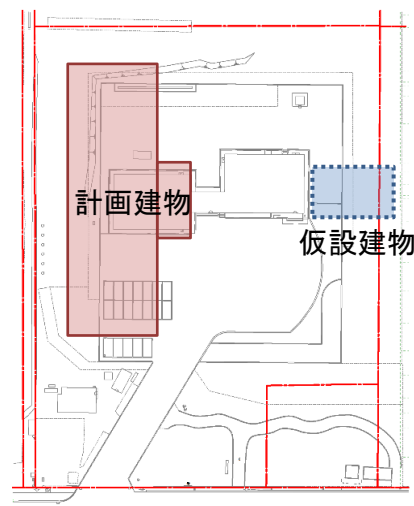
## 6. 建て替え計画案の策定

### 6-1. 配置計画

滝の川斎苑は組合圏域で唯一の火葬場であり、既存施設の利用が滞ることの無いように施工を進める必要がある。

配置計画にあたっては、既存施設を稼働させながら北側の空地に新施設を建設する「A案」、既存施設の一部を解体、仮設運営しながら敷地西側に新施設を建設する「B案」を比較しながら配置計画を検討する。

表6-1. 配置計画案比較

		A案（北側配置）	B案（西側配置）		
配置概要					
利用面	配置	基本的に現状の馴染みのある建物配置を踏襲	○ 現状の建物配置を90°回転させる	△	
	動線	人、自動車等の利用・管理における動線の大きな変化は無し	○ 施設出入口が東向きになることから、動線が変化する	△	
	経路入り	敷地進入口から施設出入口までの距離が現状より遠くなる	△ 敷地進入口から施設出入口までの距離は現状とほぼ同じ	○	
	部待門合	2方向の遠景を望める	○ 配置によっては、遠景が望みにくくなる	△	
	火葬部門	配置によっては、火葬部門を西側隣地(民有地)から離すことができる	○ 火葬部門が西側隣地(民有地)に接する	△	
施工面	施工手順	① 新施設を建設 ② 既存施設を解体 ③ キャンピートを建設 ④ 外構工事	○ ① 待合部門の仮設工事 ② 既存施設の待合部門側を解体 ③ 新施設、キャンピートを建設 ④ 既存施設の火葬部門側を解体 ⑤ 仮設待合部門を解体 ⑥ 外構工事	△	
	キャンピ	新施設建設との同時施工は不可能	△ 新施設建設との同時施工が可能	○	
	仮設	仮設施設工事が不要	○ 工事期間中の既存施設解体が必要となるため、仮設施設の設置・撤去が別途追加	×	
	解体	解体工事の2段階施工が不要	○ 解体工事の2段階施工が必要(待合部門側、火葬部門側)	×	
建設費	955,000千円	○	1,050,000千円	△	
総合評価	○		△		